

学生の皆さんへ

岐阜大学医学部で6年間の学生生活を終え、
2年間の初期研修医を修了して、
2021年4月より
ようやく消化器外科医として働いております。
もちろん、手術を通して病気を治すことに憧れて
この仕事を選びました。
しかし、当たり前ながら
手術の修練にのみ励めばいい訳ではなく、
術後管理の大変さ、外来での患者さんのフォロー、
抗癌剤の選択の奥深さなどその他にも
学ばなければならない事は果てしなく多く、
日々奮励努力しております。

私は高校を卒業し、大学入学から卒業まで6年間で学志舎のコーチとしても働かせていただきました。
学志舎には大手有名予備校のような名物講師は一人もいません。
しかし、大手予備校の講師は、教壇だったり、画面の中だったりしかおらず、聞きたいときに質問できません。
また、その講師達はたくさんいる生徒のことを一人ひとり詳しく知りません。
それに対して、学志舎ではマンツーマンで常に信頼できるコーチが隣にいます。
コーチとの信頼関係もあり、コーチも生徒一人一人によって話し方や教え方を変えています。
自分が山下コーチにいただいた様に、コーチと色々な話をしていく中で、生徒が目標を定め、またその目標への思いを高めていきます。
生徒は目標への計画を適宜コーチに修正してもらいながら、あとは一直線に進んでいくのみという方針で生徒と向き合ってきました。
生徒一人ひとりがイマ感じている事に対して、即時に柔軟に対応できる事が学志舎ならではの良さだと思いますし、
私もそれをサポートするつもりで6年間働かせていただきました。
学志舎では、コーチとして働いている期間にも非常に多くのことを学ばせていただきました。
学志舎の基礎になっている教育コーチングや、毎年生徒や保護者の方に行っている講演会などは、
『人間力』を高める本当にいい機会でありました。
医師という仕事は、人を相手にしている以上、『サービス業』です。
患者さんには毎日会いに行き、その日のコンディションを会話からはもちろん、
表情、声色などからも受け取っていかなければなりません。
また、一番患者さんの様子を見ているのは病院では看護師さんになるので、
看護師さんからの情報も非常に重要になってきます。
数多くの人と接し、信頼関係が非常に大切になるこの職業に就くにあたって、
学志舎での様々な経験は色んな角度から考え方や感じ方を学ぶことができたと感じていますし、
またそのような機会を与えてくださった塾長、事務長に深く感謝しております。

「学志舎での思い出」

在塾中は塾長、事務長、山下コーチには本当に伸び伸びと受験勉強させて頂いたと思います。
特に記憶に残っているのは高校3年生の体育祭応援団への参加です。
母親には強く反対されましたが、事務長に『応援団も受験勉強も純兵なら両立できるよ!』
と母を説得して頂きました。今想像すると、友達が応援団の練習をしている姿を横目に
塾へ向かって勉強しているよりも、自分で両立すると決めた以上
どれだけ疲れていようと練習後に勉強している方が何倍も集中できていたと思います。
あの時に自分を信じてもらえた事が非常に嬉しく、また自信にも繋がったと感じております。

卒塾生 河合 純兵 岐阜大学 医学部卒

「卒塾生 学志舎で語る」vol.7

力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

点数よりも、大切なものだと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。
「コーチ(coach)」とは「馬車」の意。
ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

河合君は私が学志舎に入って3年目に担当した生徒でした。
彼は当初から医学部を志望していました。そのため、当時医学部の4年生だった私は、
是が非でも合格させてあげたいと強く想いました。
彼はバスケットボール部に所属していました。部活も一生懸命やりながら、
医学部に合格することは並大抵の努力で叶うものではありません。
時間も限られている中で、合格圏内に入るために諦めずに頑張りました。
当時学志舎にはお互いに高めあえる同級生が何人もいたことも大きかったと思います。
頑張っていくうちに高い壁が、乗り越えられるハードルへと変わっていきました。
結果、彼は推薦入試で合格の栄冠を勝ち取りました。
面接や小論文もあり、これを突破するということは、彼の人柄の良さや
医師になるための資質が十分備わっていることを証明しています。
入学後は学志舎のコーチとして同じ立場で時間を過ごせたこと、
私の大学の後輩として同じ道を歩んでいけることを、
とてもうれしく思ったことを記憶しています。
今後の彼の活躍に期待しています!

担当コーチ 山下雄太 愛知県在住 皮膚科医



学志舎

智をつけよ そして人の為に使わせ



築100年の古民家



1F 小中学生教室



2F 高校教室

〒500-8085 岐阜市白木町92番地
【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索

学志舎

岐阜市で25年の塾経営経験を活かし、
お子さまのレベルに合わせたカリキュラムを組み立て、
徹底した自律学習指導を行っています。

卒塾生の思い出

表面の彼のコメントに書いてあるように、6月の懇談会のことを今でも鮮明に覚えています。

お母さんが「体育祭の応援のリーダーをやりたいと言うのですが…

そうするとお盆ごろからは毎日練習に出なければいけないので、今の成績を考えると

賛成できないのですが、先生はどう思われますか？」間髪入れずに横から事務長が

「お母さん、純兵君にやりたいようにさせてあげましょう。私は、やらずに後になってやりたかったと悶々とするより、

思う存分やらせてあげて、やり切った感をもってその後勉強に向かえばいいんじゃないかと思います。

彼ならきっとやりますよ。私は純兵君を信じています。」そして「この後は私が責任を持ちます。」

「あ～、言いきったぞ!」と私は思いました。

お母さんは少考後ふっ切れたように「わかりました。私もあの子を信じます。先生、今後私はどうすればいいんでしょう？」

事務長はニコツと笑って「何も言わずに美味しいご飯を作ってあげてください。そして受験まで笑顔で見守ってあげてください。」

2月20日お母さんと彼が合格の報告に来てくれました。お母さんは満面の笑顔で「事務長先生に言われたように、

この子には『勉強しなさい』と言わないようにしました。そして美味しいご飯を食べさせることだけに専念しました。」

3年後のことです。お兄ちゃんの後を追って、弟君も岐大の医学部に合格。弟君と報告に来てくれたお母さん、笑いながら

「この子の時は本当に楽でした。事務長先生に言われたように、何も言わずに美味しいご飯を作るのに専念しましたから。」

私も事務長も思わず大笑いしたことがつい先日のように思えます。

話は戻りますが、彼は大学時代学志舎で後進の指導に当たってくれました。

生徒にとっては本当に頼もしい兄貴であり優秀なコーチでした。余談ですがコーチ時代の土曜の夜遅く、

玉宮町から塾時代の仲間と電話をかけてきて「飲み足りないのこれから行っていいですか？」それから3時、酔いつぶれるまで。

以降幾度となく飲みましたね。昨年12月も、卒塾生の飲み会に私たちを誘ってくれました。

オンオフの切り替えがしっかりした彼です、患者さんにしっかりと寄り添える、よい医者であることでしょう。

今後も仕事にプライベートに輝いて、人生を走っていくことだろうと思います。



塾長 山田 勝登

私も彼に「やることさえやれば、やってもいいんじゃない」と言いました。その夜仕事が終わりと、

塾長にその話をしました。塾長は「何か（ハードル・困難）があるからできないは当たり前。

うちの生徒たちには、何かがあってもそれを表に出さず、涼しい顔をして乗り越えて実行できる

人間になってほしい」と常々言っていましたので、きっと賛成すると思っていた。

開口一番「俺反対するな～今の成績だったら。お母さんが反対するのはもっともだよな。」「本気で？」

塾長は笑いながら「いや、反対して純兵の覚悟の程を聞いてみたいね。で、どうだったのよ？」

「覚悟がなかったら、あの子は私に言わないわよ!」「じゃあいいんじゃない。」

そしてその後の懇談会で、お母さんに納得してもらって夏休みを迎えました。

学校で応援の練習をしている時間以外はずっと塾にこもって、

自分の計画を粛々とこなす彼の姿に、賛成してよかったと思いました。

11月、第3日曜日は学志舎恒例のイベント「木曽三川公園リレーマラソン」がありました。

これは1チーム10人で42.195kmをタスキリレーするものです。学志舎からはコーチと

生徒2チームが参加しました。この時期に受験生が朝から夕方まで、こんな大会に出て

走っているなんて学志舎だけだろうと思います。しかし、午後4時頃塾に帰ると10時頃まで

皆勉強をします。このイベントに彼もちろん参加しました。そしてその翌日のことでした、塾長は

前日のマラソンの写真をプリントアウトした後、私に「純兵は合格するな」と言いました。「???」です。



実は大会後に皆で集合写真を撮るのですが、最後は「変顔!」といって皆が変なポーズ、

変な顔をして思っきり砕けた写真を撮るのです。その時の彼の写真を見てそう確信したそうです。

何の根拠もありません。単なる勘です（笑）しかし、塾長の勘は結構当たるんですよ。

その時の写真がこれです。一番砕けていたのが彼だったんですね。

やることを全力でやっている充足感からでしょうか…。

その後センター試験も無事に90%以上を取り、推薦で早々と合格を勝ち取りました。

事務長 山田 公子

自律学習の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子が多い」

と言われる昨今、学志舎は「学力」＝「学ぶ力」すなわち

「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、

自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。

国語力最優先指導

21年前、学志舎は岐阜市で初めて小学生「読書コース」を創設し、

国語力の強化に力を入れてきました。なぜなら、

すべての教科の基本は「国語」だと考えているからです。

そして、学志舎は、国語力が受験においても大きな武器となることを、

その結果で証明してきたのです。

中学部

高校受験のための教科力と
自律の養成を徹底して行うコース



朝6時オールナイト学習会終了

高校部

本格的な大学受験のための
学力形成を徹底して行うコース



合格おめでとう!

褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、

25年の経験の中で間違いありません。

学志舎は19年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、

良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。

詳細はHPを御覧ください



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索



勉強の習慣付け

小学部

中学・高校の6年間で花開く
「基礎学力」を徹底して作るコース

〒500-8085 岐阜市白木町92番地

【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎058-265-4562

【感染症対策実施中】